

仙台高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語 I
科目基礎情報						
科目番号	0007		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科 I 類		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書「国語総合」（明治書院）／教材「国語総合学習課題ノート」、現代文学名作選（明治書院）					
担当教員	伊勢 英明					
到達目標						
現代文では、一言一句の意味や文章の展開などを正確に読み取りながら、随筆および詩歌では筆者や作者の独自のものの見方・感じ方について、評論文では論じられている問題について、小説では作中人物の心情や思想について、自分なりの捉え方や考え方を持てるようになる。古文・漢文では、基礎的な知識を習得するとともに、音読や朗読等によって古文・漢文の独特なリズムに慣れ親しむことができるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
	詩歌・小説の文意や作者の表現しようとするところを理解し、それについての自分なりの感想を持つことができる。		文意を理解し、文芸作品に対する興味を持つことができる。		文意の理解が十分でなく、文芸作品に対する興味を持つことができない。	
	評論文や随筆を読み、文意を正しく理解した上で、論理の展開や考え方の独自性を味わい、それについての自分なりの意見をまとめることができる。		論旨を把握し、文意を正確に理解することができる。		文意を理解できず、論旨を把握することができない。	
	古文・漢文の基礎的な知識を理解し独特のリズムを体感した上で、古典に親しみ、古典の意義を理解することができる。		古典についての基礎的な知識を習得し、古典に親しむ素地を作ることができる。		古典を学ぶための基礎的な知識が習得できず、古典に対する興味を持つことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 3 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力						
教育方法等						
概要	中学校での国語学習を踏まえながら、文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについての考えを深め広げることができるような、より高度な「読む・聞く・話す・書く」国語力を総合的に学ぶ。 また、読書の時間を設けて読書する習慣を身につけるとともに、それぞれの文章を読み味わい、感想や要旨を的確にまとめる作業を行う。 さらに、随時百人一首のカルタ取りを行うことにより、古典和歌に親しみ、日本文化の一端に触れる。					
授業の進め方・方法	通常の授業では教科書に従い、前後期それぞれ中間試験前には現代文、中間試験以降期末試験までは古文・漢文の授業を行う。現代語の語句や熟語、基本的な古語を事前に調べた上で、問題集なども用いながら文章を正確に読み取り論点を明らかにし、さらにペアワークなどによってより理解を深めて行くようにする。 読書の時間については、テキストにある作品を各自に読ませ、作品ごとに「読書の記録」を書かせ提出してもらう。					
注意点	授業の前に教科書を一読し、分からない語句等があれば事前に調べておくこと。また、教科書や読書の時間を通して触れた作者や筆者に関心が湧いたら、著書に当たり積極的に読書範囲を広げるよう努めること。 定期試験での成績 8 0 %、その他（「読書の記録」の提出、カルタへの参加状況など） 2 0 % で評価する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・百人一首のカルタの解説		・学習目標や方法・評価などについて理解できるようになる。 ・カルタのやり方を理解できるようになる。	
		2週	評論「どうすれば虹の根もとに行けるか」論の展開に注意して、論旨を把握する。		文章全体の構成を理解し、大意を掴み、各段落のつながりや展開を理解できるようになる。	
		3週	評論「どうすれば虹の根もとに行けるか」論の展開に注意して、論旨を把握する。		段落ごとに文脈に沿った言葉の意味を理解し、文意を正しく捉えることができるようになる。	
		4週	評論「どうすれば虹の根もとに行けるか」論の展開に注意して、論旨を把握する。		筆者の言いたいことを把握し、要旨をまとめ、さらにそれに対する自分なりの意見を持つようになる。	
		5週	小説「羅生門」場面の展開に即して、作中人物の心情の移り変わりを読み取る。		ストーリーの展開に即して、小説全体の構成を理解することができるようになる。	
		6週	小説「羅生門」場面の展開に即して、作中人物の心情の移り変わりを読み取る。		具体的な表現に即しながら、登場人物の心理の移り変わりを読み取ることができるようになる。	
		7週	小説「羅生門」場面の展開に即して、作中人物の心情の移り変わりを読み取る。		小説の表現効果に注意しながら、作品の主題をまとめ、自分の意見や感想をまとめることができるようになる。	
		8週	前期中間試験と答案返却			
	2ndQ	9週	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」音読に慣れるとともに、古典文法の基礎を学ぶ。		歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを理解できるとともに、古文特有のリズムに慣れ親しむことができるようになる。	
		10週	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」音読に慣れるとともに、古典文法の基礎を学ぶ。		文法に即して正確に現代語訳できるようになるとともに、内容を味わうことができるようになる。	
		11週	『徒然草』「奥山に猫またといふものありて」古典文法などの知識を活用して正確に内容を読み取り、筆者の考え方に触れる。		古文の基礎知識をより深く理解できるようになるとともに、それを活用して正しく文意を把握できるようになる。	
		12週	『徒然草』「奥山に猫またといふものありて」古典文法などの知識を活用して正確に内容を読み取り、筆者の考え方に触れる。		筆者の考えをまとめるとともに、それに対しての自分なりの感想や意見を持てるようになる。	

後期		13週	漢文入門 漢文の基礎的な知識を学び、漢文に親しむ。	音読して漢文独特のリズムや言い回しに慣れるとともに、漢文の基礎的な知識を理解し、漢文に親しむことができるようになる。
		14週	故事成語「守株」 漢文の基礎的な知識を用いて、書き下し文や現代語訳の仕方を学ぶ。	漢文を正しく書き下し文にしたり現代語訳したりできるようになるとともに、故事成語およびそこに込められた機知や教訓を理解できるようになる。
		15週	後期末試験	
		16週	答案返却と補講	
	3rdQ	1週	評論「水の東西」 論の展開に注意して、論旨を把握する。	各段落のキーワードを押さえながら要旨をまとめ、対比的な構成を取りながら論を展開して行く方法を理解できるようになる。
		2週	評論「水の東西」 論の展開に注意して、論旨を把握する。	文脈に沿った言葉の意味を理解し、さらに接続詞の働きや指示語の内容の把握、比喩や言い換えの読み取りが出来るようになる。
		3週	評論「水の東西」 論の展開に注意して、論旨を把握する。	論の根底にある筆者の日本的な感性を理解し、各自の日本的なものの見方と対比しつつ自分なりの意見をまとめられるようになる。
		4週	小説『水かまきり』 文章の構成や展開を確かめながら、作品の主題を的確に読み取る。	小説の基本的な構造をおさえ、どのような点に着目しながら読んでいくのかを理解できるようになる。
		5週	小説『水かまきり』 文章の構成や展開を確かめながら、作品の主題を的確に読み取る。	作品の季節・場・人物の設定をきちんとおさえながら読むことができるようになる。
		6週	小説『水かまきり』 文章の構成や展開を確かめながら、作品の主題を的確に読み取る。	主人公の心情を考えながら、主題を把握することができるようになる。
		7週	近現代詩「薔のうへ」「サーカス」「I was born」 詩を朗読してリズムやイメージを喚起し味わうとともに、詩の形式や表現の特色、主題を掴む。	詩を朗読して、リズムやイメージを喚起し味わうことができるようになるとともに、詩の形式や表現の特色、主題を把握することができるようになる。
		8週	後期中間試験と答案返却	
	4thQ	9週	『竹取物語』『かぐや姫の生ひ立ち』 古文の音読により一層慣れるとともに、前期で学んだ古典文法の基礎知識を用いて内容を正確に読み取る。	音読が正しくできるようになるとともに、古典文法に即した正確な現代語訳ができるようになる。
		10週	『竹取物語』『かぐや姫の生ひ立ち』 古文の音読により一層慣れるとともに、前期で学んだ古典文法の基礎知識を用いて内容を正確に読み取る。	正確な現代語訳に基づき、物語の内容を正しく把握するとともに、物語を読むことの楽しさを味わうことができるようになる。
		11週	『伊勢物語』『芥川』 物語を精読し、王朝人の感性を学ぶとともに和歌に託された心情や和歌の修辞技法について学ぶ。	物語内容を正しく把握し、王朝人の感性を理解できるようになる。また、和歌の修辞技法について理解できるようになる。
		12週	『伊勢物語』『芥川』 物語を精読し、王朝人の感性を学ぶとともに和歌に託された心情や和歌の修辞技法について学ぶ。	物語内容を正しく把握し、王朝人の感性を理解できるようになる。また、和歌の修辞技法について理解できるようになる。
		13週	史伝「鶏口牛後」 漢文の音読のリズムを掴むとともに、基本的な句型を学び、正確に内容を理解する。	漢文を正確に音読できるようになるとともに、句型を理解し、書かれている内容を正しく把握できるようになる。
		14週	唐詩「春暁」「送元二使安西」「春望」 唐詩の形式や押韻などの基礎知識を学ぶとともに、それぞれの詩に描かれた情景や心情を味わう。	唐詩の形式や押韻などの基礎知識を理解できるようになるとともに、内容を読み取り、それぞれの詩に描かれた情景や心情を味わうことができるようになる。
		15週	後期末試験	
		16週	答案返却と補講	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	1	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	

評価割合				
	試験	その他		合計
総合評価割合	80	20	0	100
基礎的能力	80	20	0	100
	0	0	0	0